

# 企画提案書等作成要領

企画提案書等については、田辺市情報通信設備高度化事業仕様書（以下「調達仕様書」という。）を理解した上で、以下に基づいて作成すること。

## 1. 企画提案書

### (1) 企画提案書内容

1. 会社概要及び実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・企業規模（会社名、所在地、資本金、社員数、事業内容、直近2年間の収支決算の内容）</li><li>・これまでの光ブロードバンドサービス提供実績（契約件数等）</li><li>・他地域における自治体と連携した光ブロードバンドサービス提供の実績</li></ul>
2. 提案に関する基本方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・本事業に対する提案者の基本的な考え方、取組方針</li><li>・整備方針</li><li>・整備体制</li><li>・整備事業費の積算及びその妥当性</li><li>・整備後の運用方針（後年度負担、加入者減に伴う設備維持方針など）</li><li>・事業スケジュール（サービス提供までのスケジュールについて記載）及びその妥当性</li></ul>
3. サービス内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネットサービス内容や特徴（通信規格、月額料金、初期工事費、事務手数料、サービス提供エリア等）</li><li>・プロバイダサービス（サービス内容、月額料金、プロバイダ数、加入者の意志による選択可能か等）</li><li>・IP電話サービス（サービス内容、初期費用、月額料金、固定電話からの切り替えや番号継続が可能か等）</li><li>・テレビ再放送サービス（サービス内容、初期費用、月額料金等）</li><li>・有料番組（多チャンネル）サービス（サービス内容、初期費用、月額料金等）</li><li>・ラジオ放送（サービス内容、初期費用、月額料金等）</li><li>・ユーザーサポート（サポート内容（通常時、故障時、災害発生時、その他サポートメニュー））</li><li>・サービス開始時の加入促進策</li><li>・セキュリティ対策の内容</li></ul> ※サービス内容（プラン）、料金体系、サポート内容等を表にまとめるなど、整理の上、分かりやすく示すこと。
4. 企業向けサービス	<ul style="list-style-type: none"><li>・企業向けサービス（企業誘致に有利なVPNの内容や初期費用、月額利用料金、その他のサービスなど）</li><li>・故障対応（24時間365日の出張修理対応など）</li><li>・専用線（公共施設を結ぶ市が整備した光ファイバ（市内イントラネットワーク）を代替するサービス）に係るネットワーク構成案、利用料、維持費など</li></ul>
5. 設備の信頼性	<ul style="list-style-type: none"><li>・上位回線冗長化状況</li><li>・停電対策（大規模停電時における非常用電源が確保、復旧体制など）</li><li>・ネットワークのセキュリティ（サービス提供に支障をきたすような</li></ul>

	重大インシデント防止策など)
6. 保守体制・災害復旧能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守拠点</li> <li>・サービス提供設備の維持・保守体制</li> <li>・災害発生時の対応（これまでの復旧実績など）</li> </ul>
7. 将来性・拡張性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の情報通信技術革新への対応や取組（新たなサービスの提供可能性、都市部と同一水準のサービス提供の維持など）</li> <li>・光ブロードバンドを利用した、市での地域活性化策や事業提案など（地域への貢献、雇用創出の可能性、商工業、農林水産業、教育、福祉分野などでの展開）</li> </ul>

## 2. 見積書・参考見積書

見積書（様式7）・参考見積書（様式8）は、各様式の記載事項に従って作成すること。

見積書の金額については、提案限度額を超えないこと。

## 3. 企画提案書の作成にあたっての留意事項

- (1) サイズは原則としてA4版で、横向き、横書きとすること。
- (2) 専門用語や略語等には注釈を付すなど、一読して理解しやすいものとする。